

# 台灣日本語文學報

## 44

## 【論 文】

蔡 嘉琪	『今昔物語集』本朝部における異国話の一考察 一卷三十一「通四国辺地僧行不知所被打成馬語第十四」を中心に	1
王 盈文	中島京子「小さいおうち」論 —戦前をめぐる記憶の断絶—	25
戸田一康	北杜夫の「西瓜」と「夜光虫」 —語りの形式と読者の関係—	49
段 裕行	「ポラーノの広場」の産業組合 —その品目から見えてくること—	75
張 雅	森三千代『国違い』と『帰去来』に見る女性の主体性の動的変化	99
賴 錦雀	台湾の日本語教育における文化指導 —日本文化と自文化を中心に—	125
陳 相州	台湾人学習者における日本語意見文にみられる產出動詞の特徴 —多様性・規則性と誤用の分析を中心に	147
王 敏東	「ハラスメント」語群の使用状況について	173
林 寄雯	否定表現の中国語訳に関する一考察 —『雪国』の中国語訳本を例として—	199
<b>【活動彙報】</b>		
2018年7月～12月例会要旨および活動報告		225